



# データ活用の課題と最新動向 現場で広げるデータの利活用とは

2024年09月13日

NSW株式会社

サービスソリューション事業本部

クラウドプラットフォーム事業部

鈴木 輝亮

Humanware By Systemware

# 自己紹介

# 自己紹介

NSW株式会社のクラウドプラットフォーム事業部にて、データ系プラットフォームを担当しております。

これまでの私の経歴でいいますと、Host、SAPを中心にした基幹系業務の経験を積んだ後、  
2015年に日本初のData Integration HUBのデータ連携の導入し、それ以降はデータ活用の  
分野にも取り組みを広げて参りました。

常に新しいソリューションの発売や製品進化がとまらない、この領域において常に新しいものを  
日本のビジネスにどのようにマッチさせることが顧客のためになるかを軸に考えております。



NSW株式会社

サービスソリューション事業本部    クラウドプラットフォーム事業部  
副事業部長

**鈴木 輝亮**

# 会社紹介



# 会社概要

商号	NSW 株式会社
ブランド名	NSW
企業理念	Humanware By Systemware
設立	1966年8月3日
代表者	代表取締役 執行役員社長 多田 尚二
本社	東京都渋谷区桜丘町31-11
資本金	55億円
上場市場	東証プライム（証券コード：9739）
業種	情報・通信
事業内容	IT ソリューション
	エンタープライズソリューション
	エンベッドソリューション
	デバイスソリューション
連結売上高	502億円（2024年3月期）
連結従業員数	2,428名（単独1,958名）（2024年3月末）
連結子会社	NSS株式会社
	恩斯達信息技术(北京)有限公司
	NSA株式会社

## [ 事業拠点 ]

### 大阪事業所

大阪府大阪市中央区城見 1-2-27  
クリスタルタワー 22 階

### 高松ITセンター

### 広島事業所

広島県広島市  
中区幟町13-11  
明治安田生命  
広島幟町ビル 8階

### 福岡事業所

福岡県福岡市博多区  
博多駅東2-17-5 A.R.Kビル 8階

### 北九州事業所

福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル6F  
北九州テレワークセンター内201

### NSW China

中国北京市朝陽区  
静安東里12号院2号楼三階C317

### NSW 台湾オフィス

台北市大同區市民大道  
1段209號11樓

### 本社

東京都渋谷区桜丘町31-11

### 渋谷ITセンター

東京都渋谷区南平台町1-1

### 渋谷事業所

東京都渋谷区南平台町2-15

### 桜丘開発センター

東京都渋谷区桜丘町31-15  
JMFビル渋谷

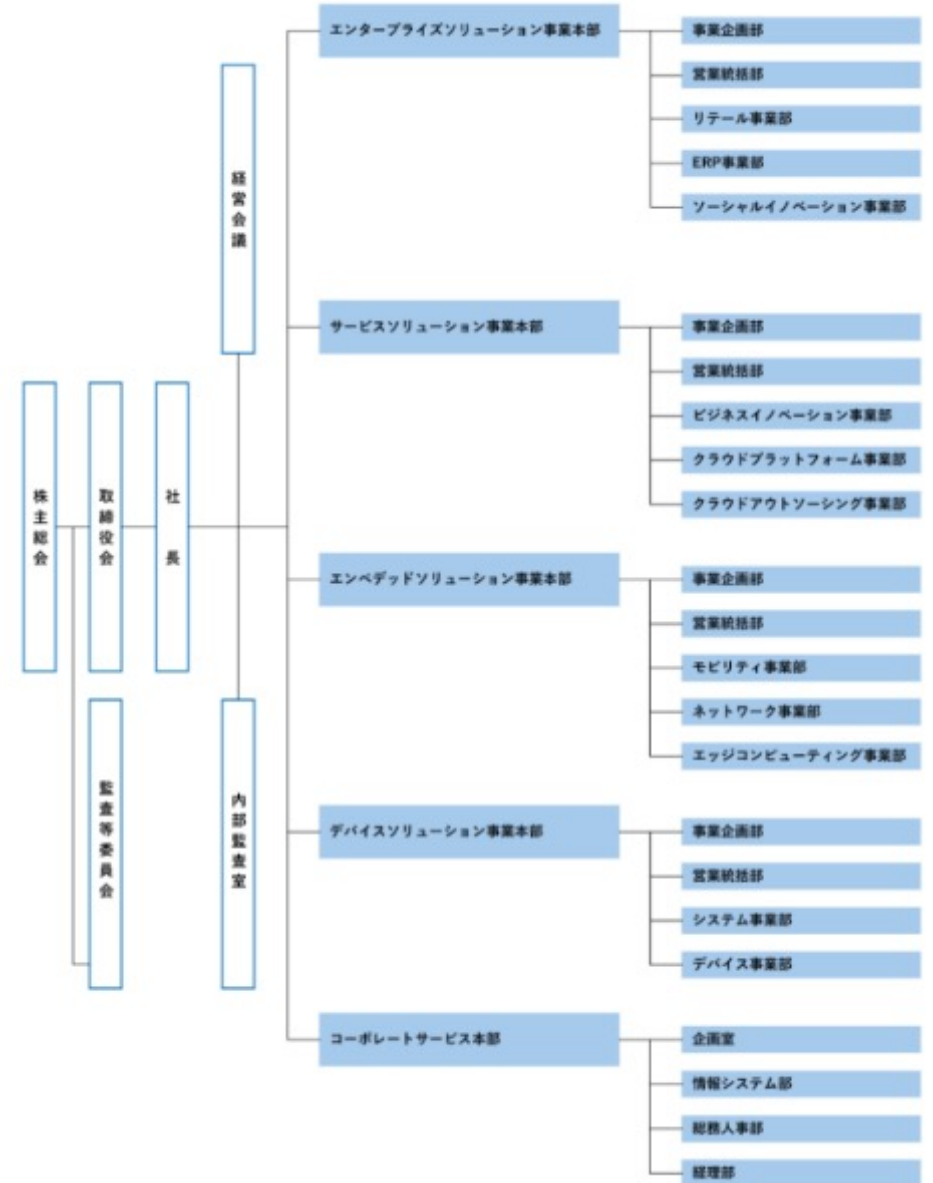
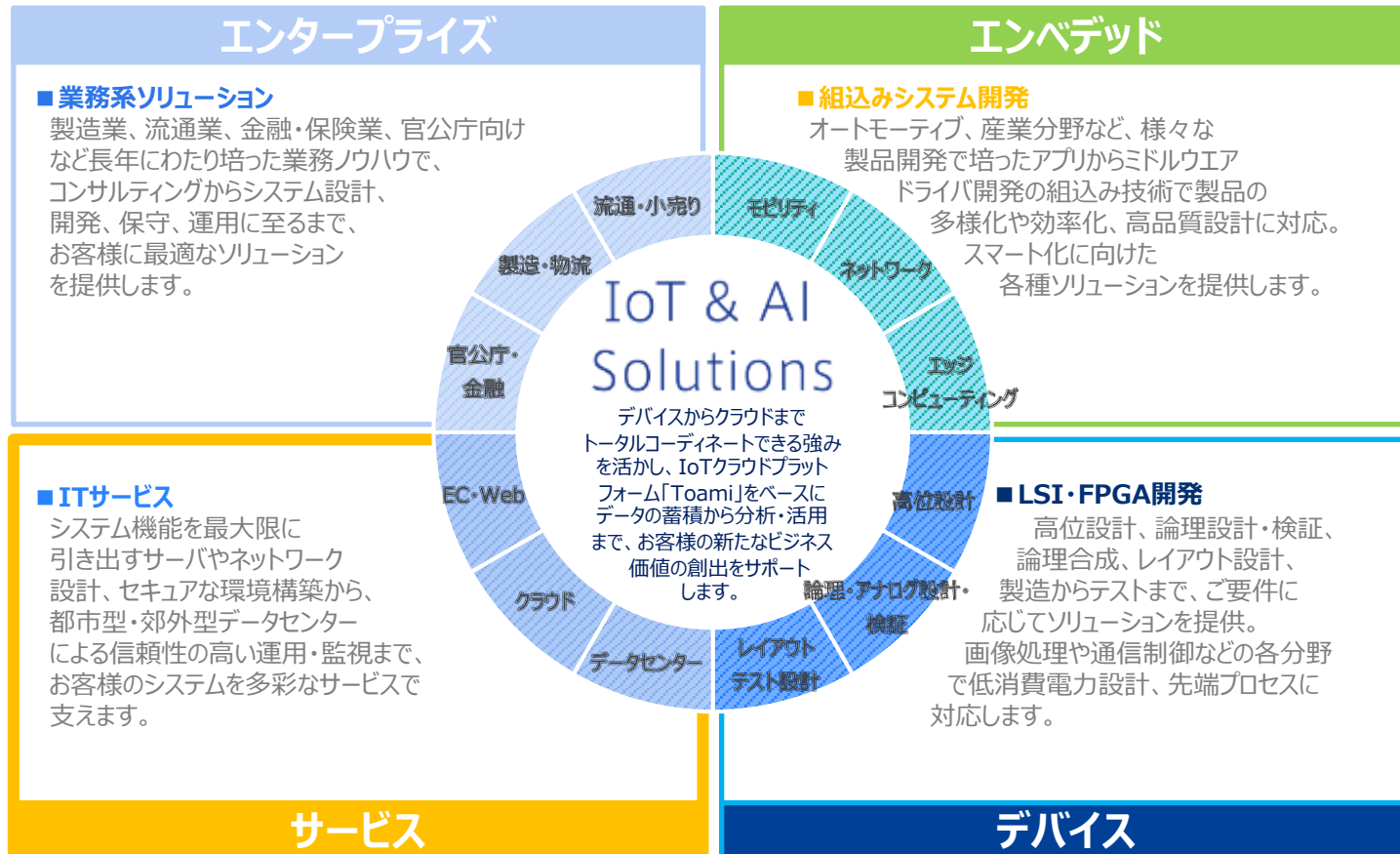
### 山梨ITセンター

### 名古屋事業所

愛知県名古屋市  
中村区名駅南2-14-19  
住友生命名古屋ビル22階

# 事業概要

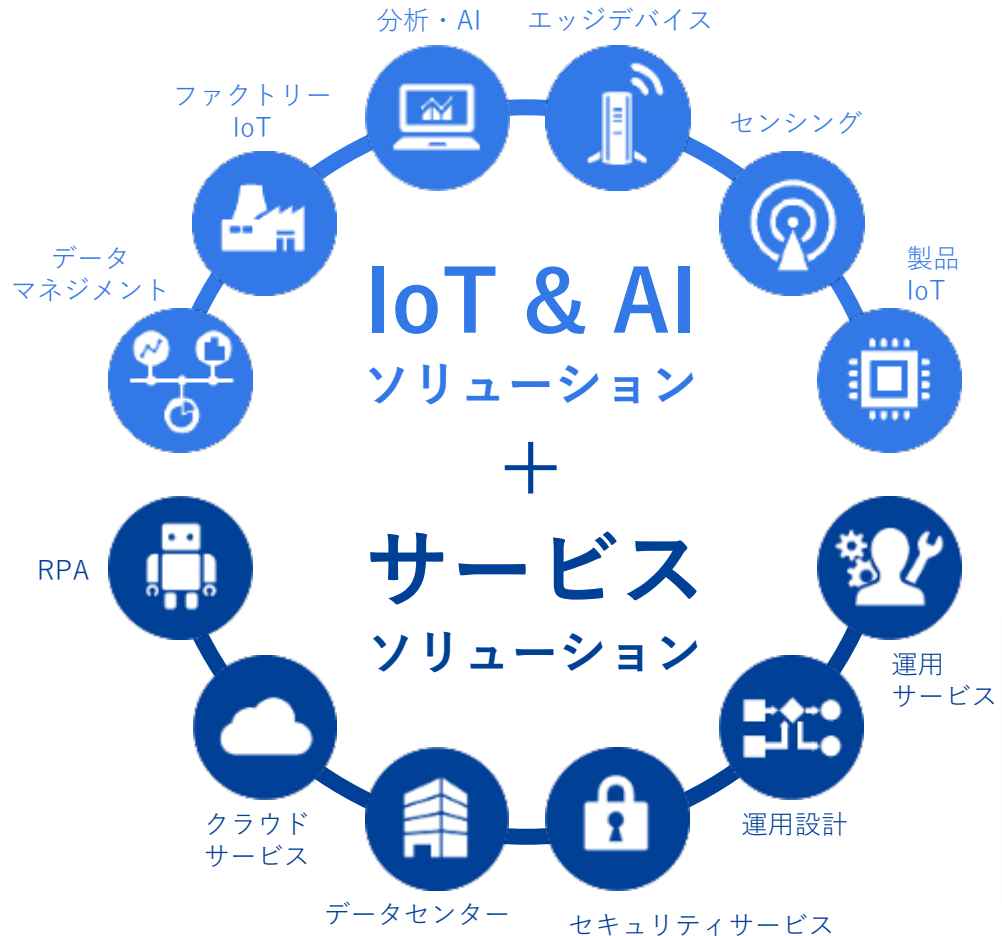
4つのソリューション領域に加え、  
IoT/AI技術で新たな顧客提供価値を創出





# NSWの顧客提供価値

## ケイパビリティ



# ものづくりDX推進のためのイノベーションスペース

デロイトは工場スマート化を推進するためのイノベーションスペース(The Smart Factory)をグローバルで提供しており、2021年9月に初のアジア拠点として京都にオープンしました。本スペースは京都先端科学大学 (KUAS) とデロイトの産学連携協定をもとに、KUAS 京都太秦キャンパス内に設置しています。次いで2023年12月に東京を拠点とした「The Smart Factory by Deloitte @ Tokyo」をオープンしました。



## 戦略的なDXを支援するGlobal Smart Factory Network

### The Smart Factory @ Tokyo



The Smart Factory @ Wichita



The Smart Factory @ Dusseldorf



The Smart Factory @ Kyoto

## 日本のものづくりDX推進をめざす産学連携



### Common Objective 共通の目標

日本のものづくりDXの推進で産学公への貢献を実現する  
「ものづくりDX推進と教育機能強化に向けた包括的連携協定」

を2021年9月に締結

※本協定はKUAS/Deloitte間の2者間の協定になります。

### Enabler 実現の手段

#### The Smart Factory @ Kyoto

日本企業のものづくりDX推進に必要な実践的知識、  
体験を得られるイノベーションスペースを開設



# AI FAQサービス



産業用スマートグラスサービス

**NSW-OCR**

手書き伝票AIデータ化



視認・画像解析



LiLz Gauge



対話・発信

AIチャットボット  
サービス

RPAサービス



作業処理

# AIOps

Artificial Intelligence for IT Operations

ロボティクス  
サービス



**Around Now!**  
Mobile

熱中症対策サービス



## 工場管理

「現場の声」を統合分析し、業務改善、生産性向上を実現する「Smart-FOA」。現場に求められる「デジタルOODA(=高速CAPD)」を実現。



## IoT監視

IoTサービス実現に必要な各領域の全てを、ワンストップでサポートするトータルプラットフォームソリューション「Toami」。



## 作業効率

梱卸業務や警備業務の人員コスト・人手不足をロボットで解消「ロボティクス」ソリューション。



## 入出庫・在庫管理

製造・流通・物流業のお客様の総合的な物流基盤構築をサポートする「物流DXソリューション」。



## 輸配送管理TMS

自動配車、ルート最適化、配送状況、温度管理など物流管理をサポート。



## データ活用

工場内各種データの蓄積、データ活用のトータルデータマネジメントソリューション。

## ネットワーク

工場内ネットワーク、インフラマネージメントに加え、工場内産業機器のリモートメンテナンスをセキュアに実現。

## 技術伝承

音声認識による100%ハンズフリーを実現する産業用スマートグラス「RealWear」。両手が手放せない現場で、未熟な技術者への遠隔支援などが可能。



## 運用支援

目視点検を遠隔で実現。アナログメーターをAIで自動読み取りする「LiLz Gauge(リルズゲージ)」。



## 可視化

現場の見えなかったあらゆる掲示をデジタル化。可視性の高い「デジタルサイネージ」。



## 環境対策

環境で防げる疾病対策、熱中症・疾病対策サービス「Around NOW!」。



## 帳票管理

手書き帳票を高精度で読み取る「AI-OCR」で、帳票管理のデジタル化を支援。



# 工場で発生する問題・課題を 多様なサービス連携で解決する!!

## NSW Smart Factory

### 工場のスマート化 ③ のポイント 「見える」「止まらない」「つながる」

設計 製造 物流 販売 保守メンテナンス

## AI分析・予兆検知

画像やセンサーから収集したデータのAI分析で自動検品、不良品判別、モータ・刃具の故障予兆検知を実現。


## 3Dデータ活用

3Dデータ撮影で、工場内現場をデジタル化し情報共有を加速。

# データ活用の課題と最新動向



# 日本のデータ活用の現状

 自分

日本のデータ活用率はどれくらい

 Copilot

✓ 回答を生成しています...

ガートナー・ジャパンによる調査によれば、日本の企業においてデータ活用で全社的な成果を得ている割合は非常に低いことが明らかになっています。最新の調査結果によれば、全社的にデータを利活用している企業は約20%であり、データの利活用から十分なビジネス成果を得ている企業は全体のわずか3%にとどまっています<sup>1)</sup>。この数字は前回の調査（2022年7月実施）時の2.2%からほとんど変化していないことが分かります。データ活用に対する企業姿勢や組織体制が整っていない現状が浮き彫りになっています。

調査結果によれば、データ活用に対する積極性を高めるためには、個人の積極性のばらつきを正確に把握し、目指す姿と比較して積極性が不足しているところに策を講じることが重要です。スキルやツールも重要ですが、組織全体で十分なビジネス成果を得るためには、積極性を高めつつ、教育や支援といった環境、資格や評価といった制度も整備して、継続的に後押しすることが肝要です<sup>2)</sup>。

データ活用に関する自社の従業員教育や資格制度の状況についても調査されており、半数強の組織が何かしらの教育環境や制度を持っている一方で、教育や資格制度、手当がない組織も43.6%存在しています<sup>2)</sup>。

データ活用を推進してビジネス成果を得たいと考える組織は、スキルの適切な配置と役割の定義を考える必要があります。人材不足以上に、教育環境の整備や社内資格、手当、昇進などの制度設計にも注力すべきです<sup>2)</sup>。

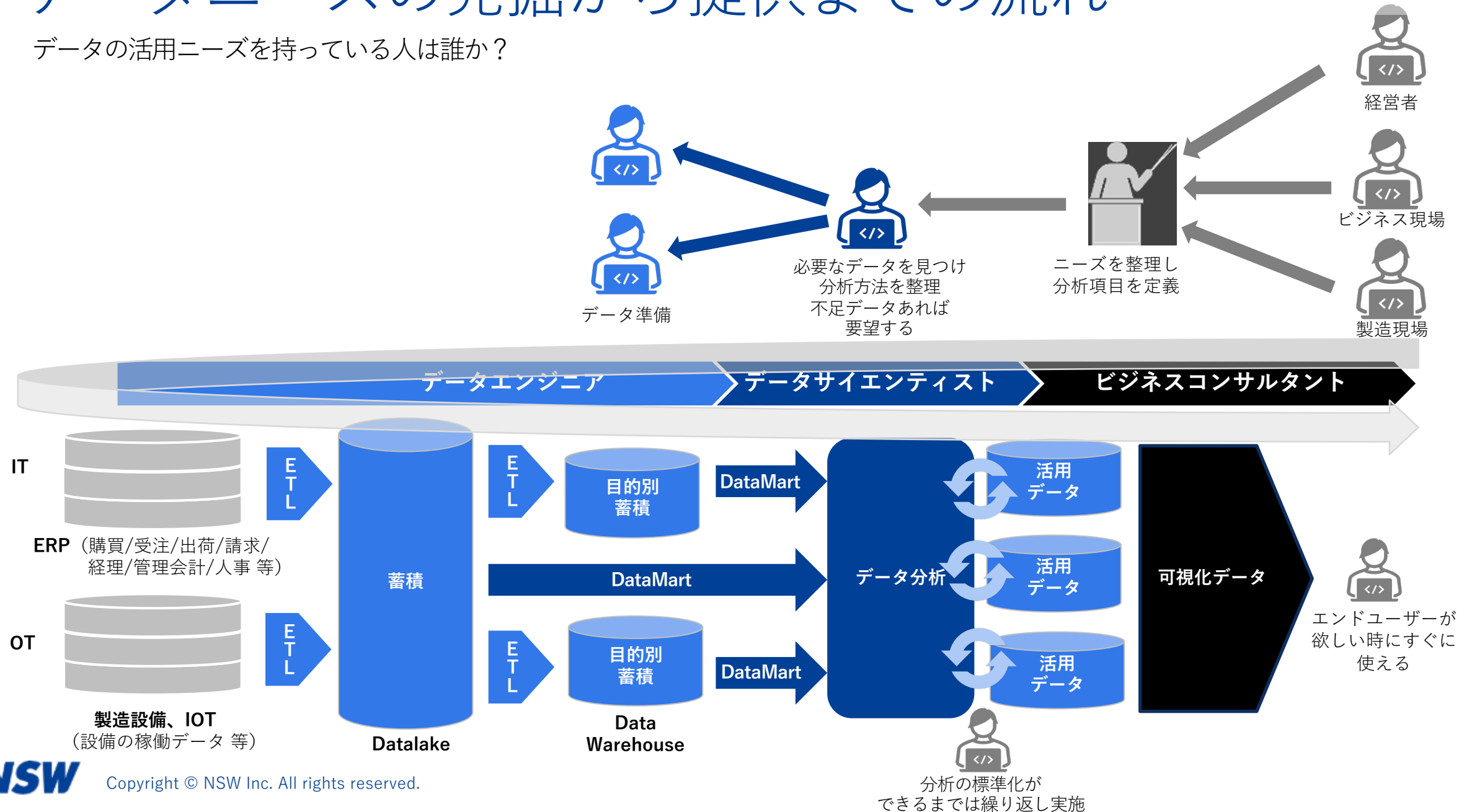
<sup>3)</sup>

ガートナー・ジャパンの調査は、  
2024年1月時点のものです



# データニーズの発掘から提供までの流れ

データの活用ニーズを持っている人は誰か？

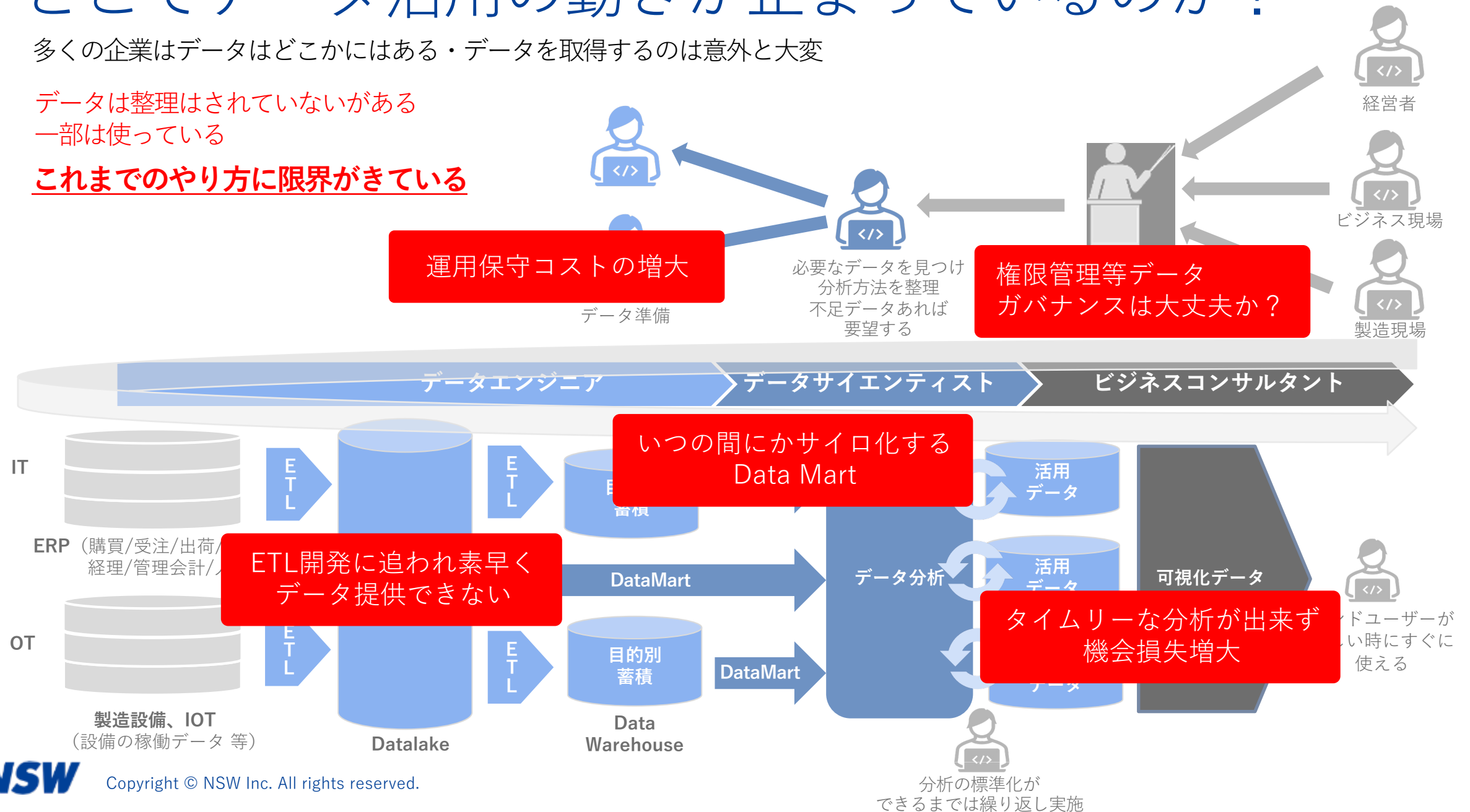


# どこでデータ活用の動きが止まっているのか？

多くの企業はデータはどこかにはある・データを取得するのは意外と大変

データは整理はされていないがある  
一部は使っている

これまでのやり方に限界がきている



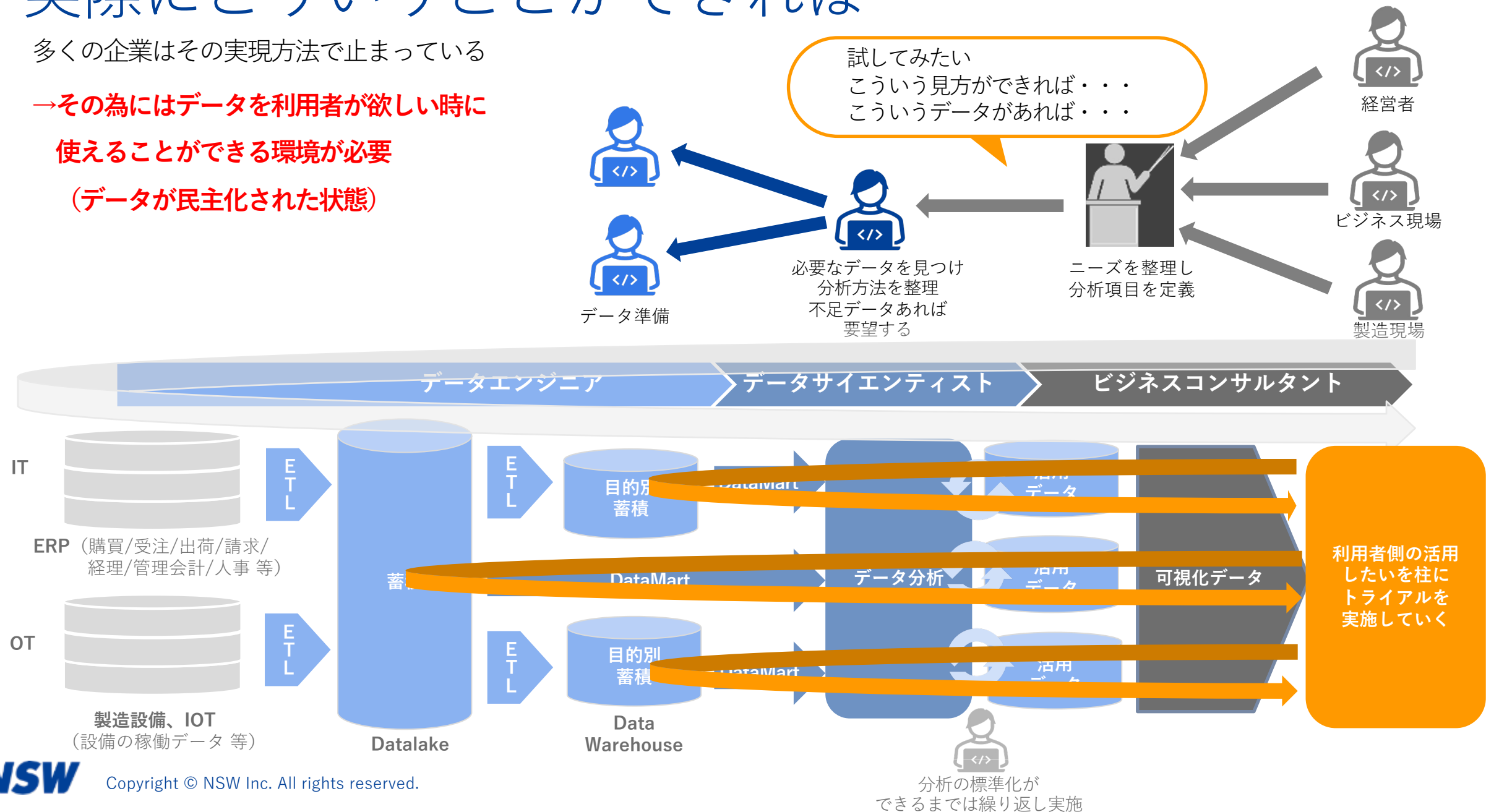
# 実際にこういうことができれば・・・

多くの企業はその実現方法で止まっている

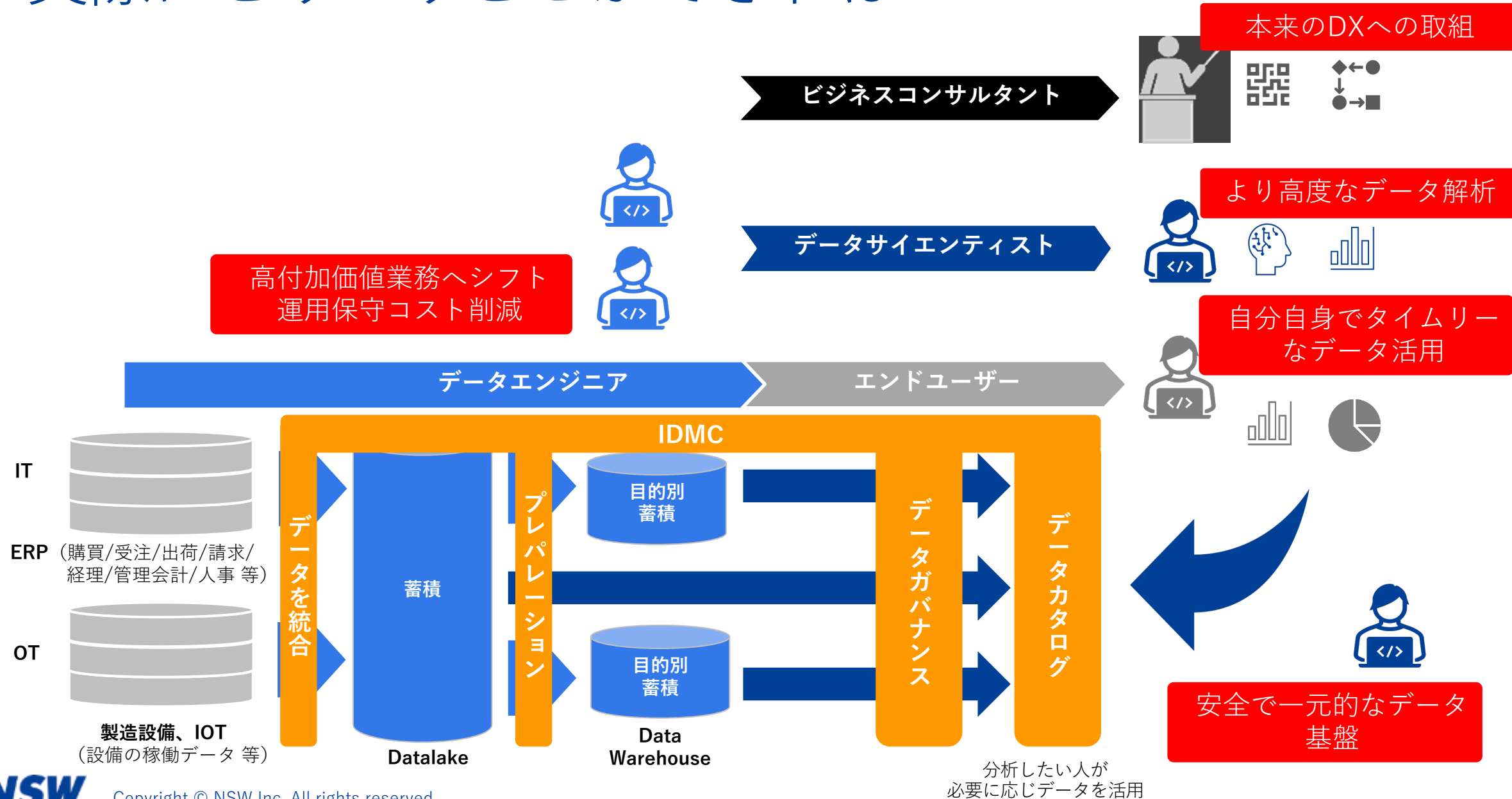
→その為にはデータを利用者が欲しい時に

使えることができる環境が必要

(データが民主化された状態)



# 実際にこういうことができれば・・・





# 現場で広げるデータの利活用とは

# I T 中心の対応からエンドユーザー中心の対応へ

## 【IT側】

Dataを届ける道をつくったら

- データのガバナンスルール  
やデータを活用するルール
- データセキュリティや権限
- また、カタログによる  
利用者の利用しやすさ

## 【利用者側】

自分たちで考え、試す

- やりたい事、実現したい事  
は、利用者が考える
- その活用したデータは  
データカタログなどを通じ  
他の利用者に展開

本来のDXへの取組



より高度なデータ解析



自分自身でタイムリーなデータ活用



高付加価値業務へシフト  
運用保守コスト削減



データエンジニア

エンドユーザー

IDMC

IT



ERP (購買/受注/出荷/請求/  
経理/管理会計/人事 等)

OT



製造設備、IOT  
(設備の稼働データ 等)

データを統合

蓄

Datalake

プレパレーション

目的別  
蓄積

目的別  
蓄積

Data  
Warehouse

データガバナンス

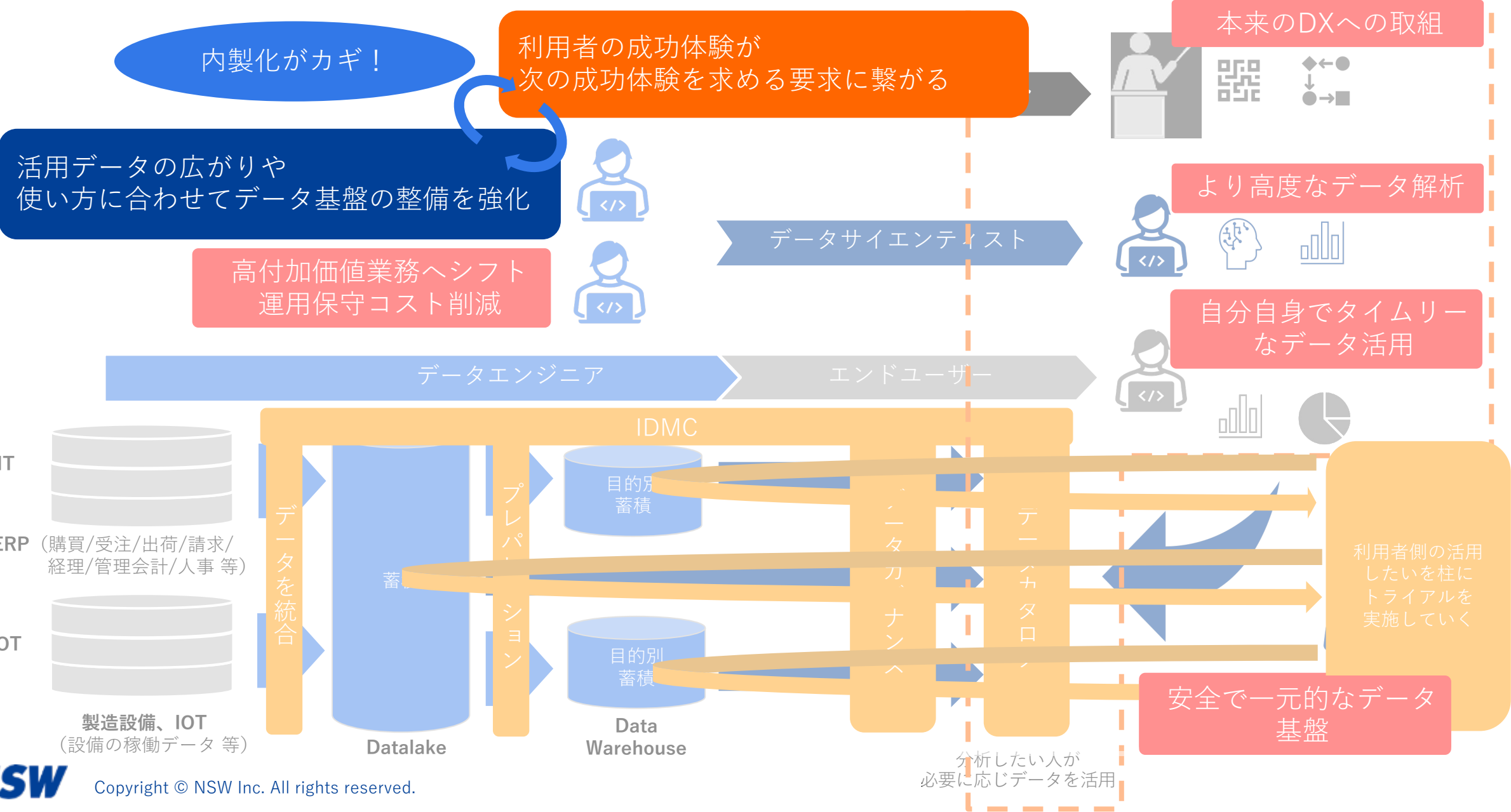
データカタログ

利用者側の活用  
したいを柱に  
トライアルを  
実施していく

自主で 元的  
基盤

分析したい人が  
必要に応じデータを活用

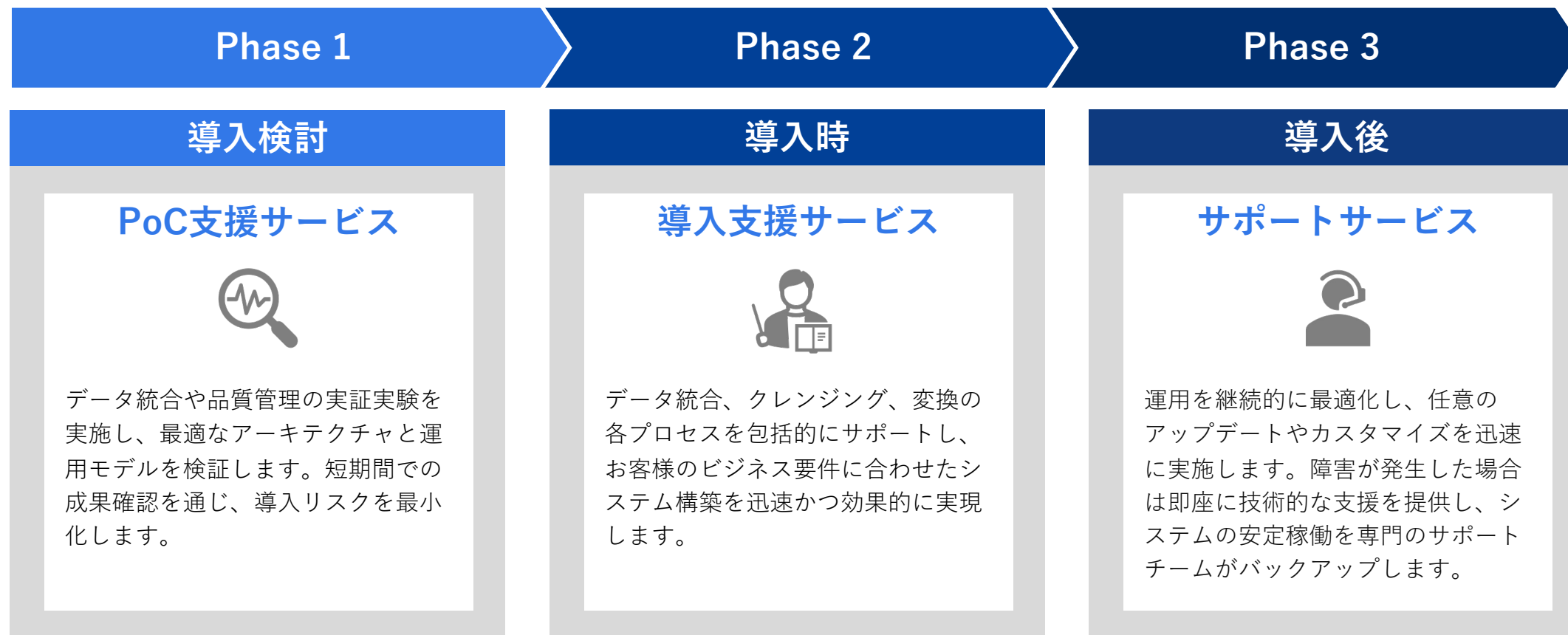
# 小さい成功体験から周囲に展開



# 事例にみる内製化支援①（導入検討～導入、そして導入後まで）

## NSW独自サービスによる強力なバックアップを提供

独自のアプローチや専門知識を活かして、お客様のニーズに合った戦略的なサポートを実施。これにより、インフォマティカ（**Intelligent Data Management Cloud™**）の導入や運用において、よりスムーズで効率的なプロセスを実現し、お客様の内製化に貢献。



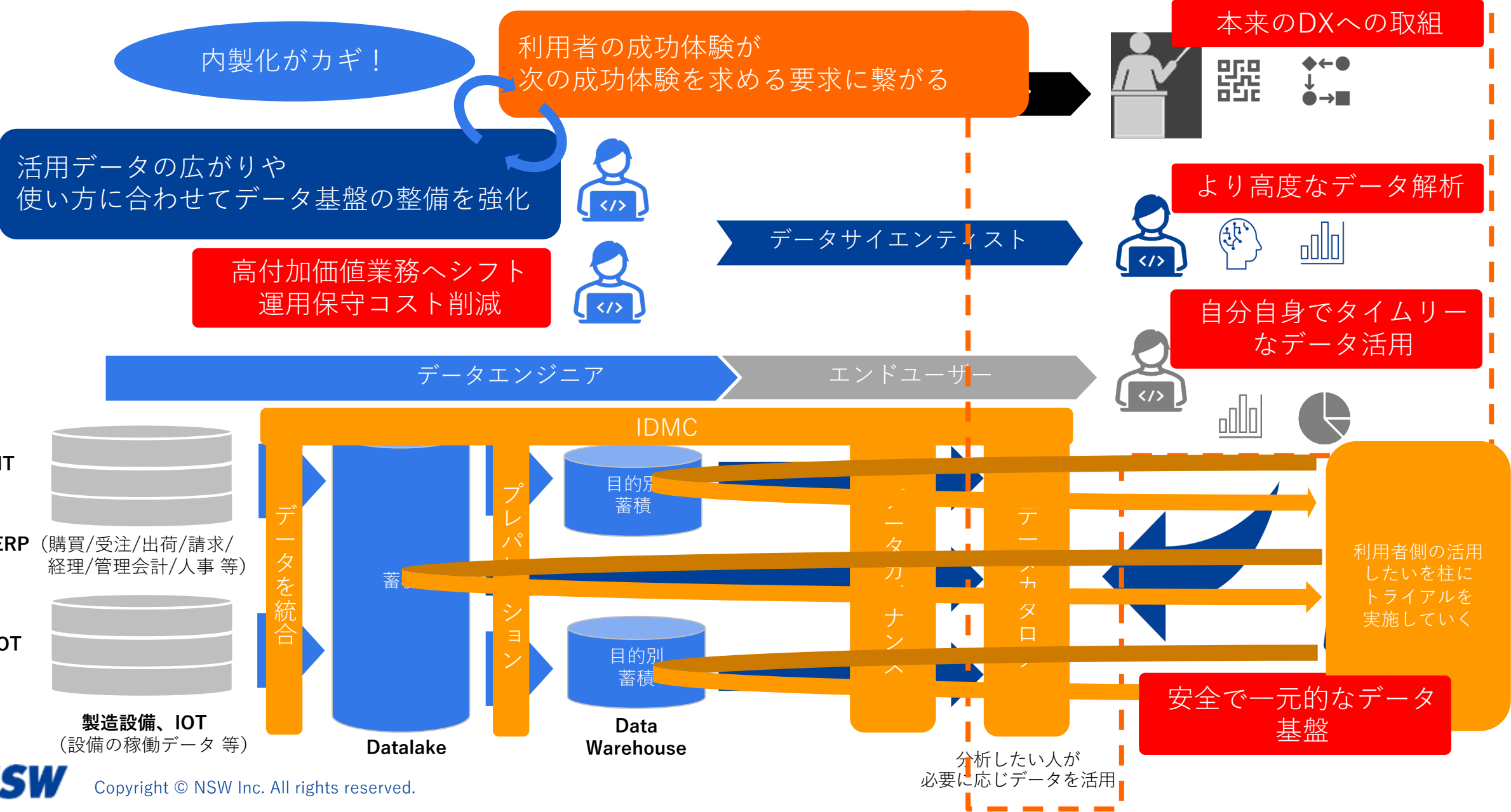


## 事例にみる内製化支援②（インフォマティカ内製化に向けた支援）

PowerCenterを導入する中で、プロジェクトおよびアプリ運用者向けにPowerCenterの基礎スキルを身に付け、開発・保守業務に対応できる要員を育成したいお客様向けに内製化に向けた教育支援を実施

サービス名	時間	内容
入門編	0.5日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ PowerCenter概要説明</li><li>・ 環境構築（PowerCenterインストール）</li><li>・ PowerCenter開発演習</li></ul>
実施編	3日	1日目 座学（トランスフォーメーション詳細，マップレットとは…） 2日目 要件から作成するワークフローの構成の検討/作成 3日目 トラブルシューティング設計書の作成テスト仕様書の作成
応用編	3日	1日目 JP1ジョブの作成、Shellの作成 2日目 業務要件にあった連携の作成（SAP，HOST，WebAPI，SFDC…） 3日目

# 小さい成功体験から周囲に展開



# 小さいことからコツコツと、そしてDXの実現へ

最後に少し遊んでみました。

「デジタルトランスフォーメーションを実現するイメージの絵」をCopilotに描いてもらいました。



ご清聴頂きありがとうございました

The background of the slide features a light gray network pattern of interconnected lines and nodes, resembling a digital or molecular structure. A solid blue vertical bar is positioned on the far left edge of the slide.

# **NSW**

“新たな社会”の実現に貢献する

---

New Sustainable World by Digital